

「楽しい学校生活を送るための  
アンケートQ-U」活用研修会

---

**かかわりの力を育む支援の在り方  
～Q-Uを活かした具体実践のヒント～**

名城大学 曾山和彦  
2009.1.20 1

**「かかわり」の観点から子どもを見る**

環境の変化

- 情報化、スピード化
- 三間(時間、空間、仲間)の消失
- 核家族化 等

↓

昔に比べ、人とのかかわり不足の子どもたち

↓

子どもに限らず、大人も

2

**人とのかかわり不足が生む問題1**

□ 子どもたちの社会性が弱まっている

↓

ソーシャルスキル  
(人づきあいのコツ、技術)

↑

2極化した行動  
相手を消す(いじめ)か、自分が消える(不登校)

3

**低い社会性(ソーシャルスキル)**

児童生徒の社会的スキルに関する縦断的研究  
(石川信一ら、2007)

<研究概要>  
小4～中1までの児童生徒対象。スキルは高学年が低い。不適応感も悪化。スキルは自然の時間経過によっては獲得されない。先生や友だちとの関係づくりスキルを学ぶことで学校不適応が改善

4

**人とのかかわり不足が生む問題2**

□ 子どもたちの自尊感情が低下している

↓

Self-esteem  
自己評価の感情。自分自身を価値あるものとする感覚であり、他者(身近な大人、友人等)評価により育まれる

↑

自分自身のみならず、他者の受け入れも困難

5

**低い自尊感情** 炭坑のカナリア現象

高校生 自分自身満足度 2005

項目	日本	米国	中国	韓国
とても満足	~5%	~35%	~15%	~10%
まあ満足	~38%	~50%	~52%	~45%
あまり満足ではない	~38%	~12%	~25%	~35%
不満足	~18%	~5%	~5%	~8%
無回答	~2%	~2%	~2%	~2%

日本青少年研究所「高校生の友人関係と生活意識4カ国比較」

### 「欲求」の観点から子どもを見る

子どもの安心欲求は満たされているか(Q-Uプロット横軸)

子どもの承認欲求は満たされているか(Q-Uプロット縦軸)

マズローの階層説

学校でも家庭でも

7

### 現代の子ども像と支援の基本方策

「ソーシャルスキル」、「自尊感情」が落ち込んでいるのではないか

↓

「人は人の中で人になる」  
～人はかかわりの中で癒され、育つ～

対人関係のコツ(技)を身につけ(Q-U横軸支援)、自分に「OK!」と言えるよう(Q-U縦軸支援)、グループ体験等を活用する

よりよい「かかわりの力」が育まれる

8

### 「かかわりの力」を育むための土壌づくり

「かかわりの糸」がたくさん張られている、あるいは、太くなっている土壌をつくる

「土おこし」のエクササイズ

- ・ネームゲーム
- ・アドジャントーク

グループメンバーのアイスブレイキング

9

### かかわりの力を育む具体方策 Q-U横軸

～ソーシャルスキルを育む3つのアプローチ～

ターゲットスキル; 話の聴き方、あたたかい言葉がけ

1. スキルが**使えない**時を見逃さない (対応; 対決アイメッセージ、確認の質問など)
2. うまくスキルが**使えている**時を見逃さない (対応; 褒める、勇気づける、認める)
3. **楽しい**ゲーム、ロールプレイの工夫 (命令ゲーム、仲間集めゲーム、ロールプレイ、他)

10

### 演習; 上手な断り方(初級編)

状況; ノートを借りる、遊びに誘う等

- A お願いする
- B 理由をつけて断る
- A 理由に納得してあきらめる
- B 配慮の言葉をかける(ごめん、今度ね等)

\*ターゲットスキル; 相手にも配慮した自己主張

### 参考; 「教える・考えさせる」ソーシャルスキル

ソーシャルスキルの質的变化  
10歳までの「教える」、10歳からの「考えさせる」

- 10歳前後を境に、道徳性(大人に委任 自分で判断)、友人・母親関係(母への同調 友人への同調)が質的に変化する。

学んでいないなら学ばせ、間違っているなら学び直せ

12

## かかわりの力を育む具体方策

Q-U縦軸

～自尊感情を育む3つのアプローチ～

- とにかく言葉をかける; 「1日10回は声をかけてほしい」(by夜回り先生)

1. **いいところ探し**; 「A君のいいところは だね」
2. **リフレーミング**; 「短所は飽きっぽいところ」「それは という長所でもあるよ」
3. **勇気づけ**; 「ありがとう」、「うれしい」、「助かった」

失敗しても自尊心、所属感を失わない態度

実は、同僚・保護者も元気になる魔法の言葉がけ

## 誰もが元気になる魔法シート

昨年「四面鏡」に続き、「気になる自画像」

ねらい; 自己受容(自分のことが好きになる)

1. 4人グループをつくる
2. 自分のいいところを選択肢から3個選び記入する(A欄)
3. メンバーのいいところを選択肢から3個選び記入する(A欄)
4. お互いに選んでもらったいいところを順番に伝えあい、記入する(B欄)
5. どうしてその項目を選んだのか、お互いに伝える

絶対ルール; 伝えてもらった人は首は縦に振る(うなずき)<sup>14</sup>

## まとめ; かかわりの力と小中連携

- 小中共通するのは「自尊感情」を育む支援。違いは、小学校では大人の声をつぶり入れること、中学校では友だちの声をつぶり入れること
- 小学校は「ソーシャルスキル」を学ぶ黄金期。集団で楽しみながら、知らず知らず身につけていくのが大切。「して見せる、言って聞かせる、させる、褒める」ことでスキルが身につく
- 小中が同じ土俵で子どものかかわりの力を把握し、育むために、Q-Uは有効なツール

教育のプロである教師の腕の見せどころ

15

## 参考文献

- 発達を考えた児童理解・生徒指導～10歳までの教える生徒指導、10歳からの考えさせる生徒指導、川島一夫、福村出版
- エンカウンターで学級が変わる、國分康孝、図書文化
- グループ体験による学級育成プログラム、河村茂雄、図書文化
- 気になる子への対応術、会沢信彦・曾山和彦、教育開発研究所

16